

「さあ、これが僕の劇場だ。」



サラダボール公演

生きる、トレープレフ

Keep on Living, Треплев

原作 = チューホフ『かもめ』 脚本・演出 = 西村和宏

2024.12.5.Thu ▶ 12.8.Sun

四国学院大学ノトスタジオ

空を見上げると知らない鳥が飛んでいた。
ふと、「かもめを演ろう」と思った。

「さあ、これが僕の劇場だ。」

父不在の物語『かもめ』と父との思い出しか語らない演出家。

サラダボールにしか描けない、チェーホフ作品の新境地をお届けします。

劇団としては2年ぶりとなる待望の新作、『生きろ、トレープレフ』。

原作である『かもめ』は、19世紀末の演劇界に革命を起こしたロシアの劇作家チェーホフの四大戯曲の一つです。

湖のほとりの田舎屋敷を舞台に、理想と現実のはざまでも悩みながらも懸命に生きる若手作家の青年・トレープレフと彼を取り巻く人々を生き生きと描いた本戯曲は、人間の営みの愛しさを感じさせてくれ、時代や場所を越えて今なお多くの人々に親しまれています。

今作は、戯曲『かもめ』の世界と、演出家である西村和宏本人と父親との思い出が語られる世界が同時に立ち上がる、独自の構造となっています。

劇中で演出家役が語る父との思い出は、平凡で物語にもならないありふれた日々の出来事。どの思い出にも共通して「なぜか鮮やかに思い出せるふとした瞬間」の確かなぬくもりや穏やかな空気感が存在し、それぞれの観客の記憶の中にある「ふとした瞬間」が呼び起こされる優しい空間を創り出します。はじめは独立していた二つの世界が、物語が進むにつれ次第にオーバーラップしていく様が、世界中で上演された『かもめ』や西村演出作品の新たな魅力を引き出しています。

また劇団員として、東京を拠点としつつ地域での活動も精力的に行うプロの俳優と、四国学院大学で演劇を専門に学んだ後、その経験を生かし地元で創作活動続ける俳優・スタッフが所属しています。

トレープレフ役の大瀬戸正宗は大学卒業後、愛媛県東温市に移住し、地域おこし協力隊として、これまで演劇に触れることのなかった人々にも、広く親しんでもらうための活動を続けています。

演劇は人と人との繋がりがベースとなる芸術です。個人として、そして団体として地域の人との繋がりを大切にしながら活動を続けることで、質の高い演劇作品を創作・提供するのみならず、地域の人々の交流の場としても新たな広がりを見せています。

地域に根差した演劇活動を行うサラダボールと西村和宏が、長年培ってきた古典文学への見識を生かし、現代に生きる私たちにも通じる「人が生きること」の普遍性を描き出した『生きろ、トレープレフ』。

誰かのいつか、何でもない人生にそっと寄り添うような、生涯的一幕をお届けします。

あらすじ

湖のほとりにある田舎屋敷。庭の一部には急ごしらえの仮舞台。

若手作家の青年・トレープレフは、恋人で女優志望のニーナを主役に据え、新作劇の上演を試みる。客席には、彼の母で女優のアルカージナ、その恋人で流行作家のトリゴリン、トレープレフに思いを寄せるマーシャ。

芸術界に新しい風を吹かせたいと野心を抱くトレープレフ。満を持して、彼の思い描く新形式の舞台の幕が上がるが……。

公演概要

[出演]

トリゴリーン／演出家 鈴木智香子（青年団／サラダボール）
トレープレフ 大瀬戸正宗（片隅企画／サラダボール）
ニーナ 高橋なつみ（サラダボール）
マーシャ 横関亜莉彩（サラダボール）
アルカージナ ほりゆり（Onnamichi-performance unit-）

[公演日時]

2024年12月5日(木)・6日(金)19:00／12月7日(土)・8日(日)14:00
*受付開始・開場：開演30分前

[会場]

四国学院大学ノトススタジオ
〒765-8505 香川県善通寺市文京町三丁目2番1号
*JR土讃線「善通寺」駅より徒歩8分/善通寺ICより車で8分
*学内駐車場が1日300円ご利用いただけます。

[チケット料金（予約・当日ともに）]

一般 3,000円／25歳以下 2,000円／四国学院大学生 500円／高校生以下 無料
*日時指定・全席自由
*未就学児童はご入場いただけません。
*25歳以下／四国学院大学生／高校生以下のお客様はご観劇日当日、
受付にて年齢・学籍を確認できる証明書をご提示ください。
*NSメンバー対象公演

[予約開始日]

2024年11月5日(火) 10:00

[ご予約・お問い合わせ]

サラダボール
Web予約：<https://r7ticket.jp/theseagull2024/>
E-mail：ticket@saladball.info
四国学院大学パフォーマンス・アーツ研究所（SIPA）
E-mail：sipa@sg-u.ac.jp
TEL／FAX：0877-62-2324（平日10:00-18:00）

公演詳細は下記Webサイトで随時更新いたします。

<https://saladball.info/theseagull2024/>

[主催] 一般社団法人アトリエ・サラダ [共催] 四国学院大学
[協力] 四国学院大学パフォーマンス・アーツ研究所（SIPA）／青年団／片隅企画
[企画制作] サラダボール／一般社団法人アトリエ・サラダ
[助成] 芸術文化振興基金／公益財団法人置県百年記念香川県文化芸術振興財団

プロフィール



西村 和宏 (にしむら かずひろ)

演出家、サラダボール主宰、

四国学院大学准教授、ノトススタジオ芸術監督。

1973年生、兵庫県出身。1999年より川村毅氏が主宰する劇団第三エロチカで俳優として活動。2002年にサラダボールを立ち上げ、以降すべての演出を手掛ける。2005年より平田オリザ氏が主宰する劇団青年団の演出部に所属。2011年より四国学院大学身体表現と舞台芸術メジャー（演劇コース）にて教鞭を執る。これを機に活動の拠点を香川県に移し、高校生向けのワークショップや市民劇創作、子ども向け音楽劇など四国内で幅広く演劇教育や創作活動を行っている。

主な演出作品に四国ツアーを実施した『マクベス dialogue』や、東京でも公演実績のある『三人姉妹 monologue』や『サド侯爵夫人』などがある。

サラダボール

演出家・西村和宏が、古典戯曲から現代戯曲まで様々なジャンルの作品を上演する場。座付作家・鈴木大介のシュールな不条理現代劇からシェイクスピアやチェーホフ、三島由紀夫まで多様な戯曲を扱い、上演ごとに作品の色合いが大胆に変化する。歌にダンスのエンタメショー、言葉の妙を味わう対話劇、親子で楽しめる子ども参加型演劇など、多彩な作品を生み出す演劇のるつぼ、サラダボール。

[Web] <https://saladball.info/>

[X/Facebook] saladball2002

[Instagram] saladball



本公演『生きろ、トレープレフ』稽古風景や、サラダボール前回公演

『サド侯爵夫人』の舞台写真データは、右記バーコードより

ダウンロードいただけます。

[URL] <https://87.gigafile.nu/0117-sa53f44e394819691776e88d9eeae970e>



○本公演に関するお問い合わせ

四国学院大学パフォーミング・アーツ研究所 (SIPA)

TEL/FAX : 0877-62-2324 (平日10:00~18:00)

E-mail : sipa@sg-u.ac.jp